

# 子どもたちへより安心安全を すべての命を大切に

## 10月定例会

### 児童館のあり方の 見直しについて

いわき市には内郷・小名浜・植田の3つの児童館があります。開設当初からずっと登録制の児童保育事業をしてきましたが、来年度からなくし、児童の誰もが自由に来館出来る環境を整えることとなりました。現在登録している児童の保護者への説明が半年前になってしまったことや内郷や小名浜が特に放課後児童クラブが少ないという現状があります。

**問** 市として注意していかねばならないことは

**保健福祉部長** 利用する方々の声などを踏まえて、児童の安全性を確認することと考えております。今後は、児童館を利用する児童の保護者と児童館職員との連絡・連携を図りながら、事故等の防止に意を用いて参りたいと考えております。

**問** 放課後児童クラブの拡充に向けてどのように取り組んでいくのか

**保健福祉部長** 核家族化



AZUSA FUKUSHIMA

## 福嶋あずさ議員

の進行や共働き家庭が増加の中、児童の健全育成と子育て支援の推進に向けた就労と子育ての両立支援策として、低学年の児童がいる共働き世帯には、今後も必要性の高い事業になるものと考えております。保護者の意向を把握しながら、放課後児童クラブの拡充に取り組みで参りたいと考えております。

## 12月定例会

### 動物愛護について

いわき市でも年間およそ700匹の保護や引き取りの犬猫が殺処分されています。

**問** 保護された犬や引き取り保護された犬猫がより多く返還・譲渡されるための対策について

**保健福祉部長** 保護された犬について、狂犬病予防法で定められた期間よりも収容期間を延長しております。譲渡において譲渡適性を判定し、譲渡が可能と判断した犬・猫を事前に申込のあった希望者へ譲渡しております。また市ホームページには、「保護された犬情報」「譲渡動物情報」として写真等を掲載し、広く市民の皆様へ周知し、返還また新たな飼い主への譲渡につながる環境づくりに努めております。

**問** 犬抑留所の動物愛護センターとしての建て替えについて

**保健福祉部長** 国の指針に基づき新たに策定する予定の基本計画等の中で、検討して参りたいと考えております。

## 12月定例会

### 地域イントラネットの 具体的活用について

**問** 地域イントラネットの基幹部分と支線部分の利用率をお示しください。

**総務部長** 基幹部分は24芯の光ファイバーで結ばれておりますが、4芯を行政情報提供システムなどで利用中です。同じく、支線部分は8芯中2芯を利用中です。

**問** 現状、本庁に集まって開催する会議を、地域イントラネットを利用してテレビ会議に代替できれば、移動に伴う、時間や燃料の削減効果は、たいへん大きなものになるのではないのでしょうか。

今後、テレビ会議の導入の可能性について考えをお聞かせください。

**総務部長** 職員の移動時間や燃料費の削減のほか、災害発生時に時間をかけずに緊急会議を開催することが可能になるなどのメリットが考えられますが、利用の頻度によっては費用対効果が得られないことや、対象とする会議の種類、範囲などによって、システム整備の規模が異なってくることなどが、様々な課題がありますので導入の是非については、

### 慎重に検討して参りたい と考えております。

**問** 地域イントラネットは、使いようによっては、地場産業の活性化、観光の振興、医療などの公的サービスの向上など、新たな付加価値を創造する可能性を秘めています。新たな付加価値を創造するには、「攻めの視点」が必要ですか。各部署で新たな施策を計画するときには、「攻めの視点」で、

**問** 電子申請システムは、住民票や納税証明書などをネットから申請できるシステムですが、その利用実績と経費についてお示しください。

**総務部長** 利用実績は次の通りです。

平成16年度	13件
平成17年度	8件
平成18年度	4件
平成19年度	6件
平成20年度	11件
平成21年度(11月末現在)	14件

導入経費、運用経費(平)

### 地域医療対策 特別委員会の経過

当委員会がまず取り上げたのは「市立病院改革プラン」の取り扱いです。本プランの背景は総務省の「公立病院改革ガイドライン」に基づき20年度末までに同プランを策定し、総務省に提出するということです。プランの内容、策定に至るスケジュール、地域住民への説明・合意、医師会など関係機関への説明、当該常務病院スタッフへの説明など、多岐に亘って意見の交換をしました。

私たち創世会としては、これまで本市の地域医療環境の現状把握と課題を把握するため、医師会との懇談会をはじめ、これまでに市立常務病院スタッフとの懇談、「市立病院と地域医療を守る市民集会」の開催を行ってきたところです。その中で要望・意見を同委員会などで積極的に取り上げてきました。

同プランは一部修正の上で総務省に提出、その後は「後継医療機関選定委員会」において募集、選定の結果、財団法人とさわかに決定したわけですが、

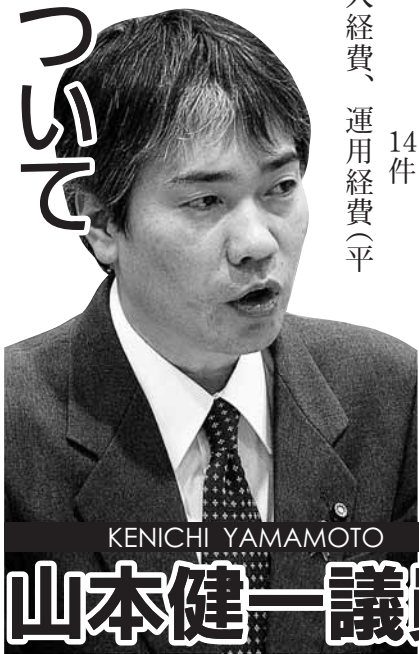
### 常務病院移譲に反対

その後、医療機能の継承、二次救急体制の継続、土地の貸付け、建物等の譲渡、そして財政支援のあり方などについての協議が進められ、11月30日、「常務病院継承開設費補助金」8億8千万円を柱に「常務病院の引き継ぎに関する基本協定書」を締結。

こうした経過の上で、先の12月議会でも論戦が交わされ、創世会は反対討論を行いました。が、原案賛成多数で議決されました。

私たち創世会は、総合磐城共立病院の早期改革と直営による経営体を求め、さらに勉強を深め活動してまいります。ご支援ください。

## 情報政策について



KENICHI YAMAMOTO

## 山本健一議員